

消費者

保険の契約は慎重に 契約前に内容の確認を

近年、生命保険の契約に関するトラブルが多く発生しています。「生命保険を解約しようとしたが、別の契約をさせられた」「外貨建て生命保険に加入したが目減りした」などの相談が多く寄せられています。

保険商品は銀行の窓口や、来店型保険ショップ、インターネットなど販売ルートが多様化して、商品もこれまで以上に複雑になっています。「加入時の話と違う」「こんな内容なら入らなかった」「説明を理解できなかった」という声が後を絶ちません。トラブルに巻き込まれないためのポイントを確認しましょう。



◆その場で契約しない

勧められた保険などに興味を持って、その場で契約せず、資料などを持ち帰って冷静に検討しましょう。家族に相談することも重要です。

◆署名や押印の前にもう一度確認

- ・ 保険の内容が自分や家族に本当に必要なものか考えましょう。
- ・ 保険のリスクを確認しましょう。
- ・ 特に外貨建ての生命保険の場合は為替市場の動向により損失が生じる可能性があります。
- ・ 解約返戻金を確認しましょう。契約を途中でやめる場合、損失が生じる可能性があります。

◆契約した後もひとりでは悩まない
不安な点がある場合は、家族や周囲の人、消費者センターなどに相談しましょう。

・ 生命保険の契約はフリーリングオフができる場合があるので、すぐに相談しましょう。

保険商品は、保障目的や資産形成目的など、保険と言いつつ多様なものがあります。また、保険金の支払い条件なども複雑で、保険会社により異なります。

消費者にとって選択が難しい商品ですが、自分がどんな保険に加入したいのか、自身で情報収集して選ぶようにしましょう。

■問い合わせ

消費者センター (08299・1234)